

五輪レスリング・国体で活躍、故田上高さん

# テニスへの情熱 忘れない

南本

2009.

## 功績たたえ冠大会継続

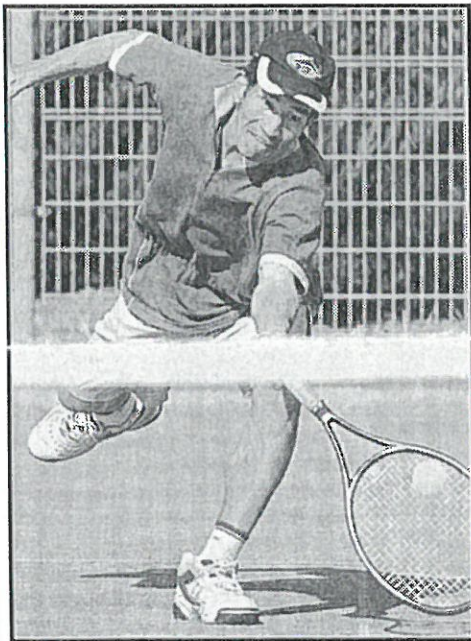
レスリングの元五輪選手でテニス選手としても活躍し、今年2月に亡くなった故田上高さん（享年61歳、指宿市東方）の名を冠したテニス大会「第13回田上杯シングルス」が21日、奄美市名瀬であった。高校教諭として奄美に8年間赴任、若手に勝負へのこだわりや情熱を示した故人をしり、選手約60人が黙とうした。

## 60人、今年も奄美に集う



故田上高選手の冥福を祈り黙とうする選手たち  
＝奄美市三儀山テニスコート

田上高さん＝2001年、知覧テニスの森公園



レスリングの華々しい実績をもつ田上さんは36歳でテニスを始め、直後に赴任した徳之島高校、奄美高校の計8年にわたり熱中。奄美高在任中にテニス選手として国体の県代表にも選ばれている。「田上杯」は、奄美を離任する際に田上さんが「奄美のテニス界を盛り上げたい」とカップなどを提供し、大島地区テニス協会が創設。逝去後も功績をたたえ名称を残した。田上さんのプレーは今でも奄美で語り草。利き手は左だが右でも打ち強しな体力で対戦者を苦しめた。同協会の押川弘正理事長（50）は「必ずボールが返ってくる超人的プレー。後輩に範を示し続けた」。妻の浩美さん（49）は「奄美への愛着が深く夫の名が残る大会が続けられ感謝したい」と話している。

田上さんのプレーは今でも奄美で語り草。利き手は左だが右でも打ち強しな体力で対戦者を苦しめた。同協会の押川弘正理事長（50）は「必ずボールが返ってくる超人的プレー。後輩に範を示し続けた」。妻の浩美さん（49）は「奄美への愛着が深く夫の名が残る大会が続けられ感謝したい」と話している。